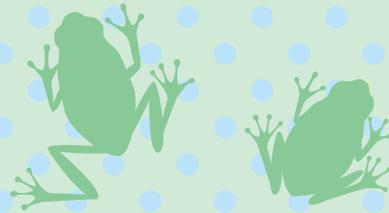


- ▶ 展示会レポート:「JP2017 ICTと印刷展」
- ▶ TOPICS: 入賞作品が製品化へ タイプデザインコンペティション 2016
- ▶ 展示会見聞録: 教育ITソリューションEXPO (EDIX)
- ▶ 世界漫遊記: 2017タイポグラフィ関連イベント紹介
- ▶ フォント あ・ら・かると:「黎明」
- ▶ メンズDTP!!: Adobe Stockの活用による作業効率化について
- ▶ イベント情報

今月の
フォント

- 本文: トーキング
- 見出し: 新ゴ(DB) + はせトッポ(DB) + CrearTone SG (DemiBold)



www.morisawa.co.jp/about/morisawa-news

展示会レポート 「JP2017 ICTと印刷展」

4月19日と20日の2日間、会場を前回までのインテックス大阪からマイドームおおさかに移して開催された今回の「JP2017 ICTと印刷展」は盛況のうちに幕を閉じました。

限られたスペースを踏まえ、どの製品をどのように展示し、またソリューションをお伝えするか工夫を凝らす各メーカのブース、一方で町の中心に位置する展示会場というアクセスの便利さを考えて、さまざまな分野の来場者を想定した印刷各社は、受注拡大を目指し自社ビジネスの特長をアピールしていました。それでは、なにわ(大阪)の意気込みを感じる展示会の様子を少し振り返ってみることにいたします。



41回目を迎えた今回の「JP2017 ICTと印刷展」は、『やがて来る変化への対応策～価値・効果創造へ仕組み発見!』をテーマに掲げ、出展各社からは将来を見据えた最新の技術・サービスが紹介されていました。会場内を巡ってみて感じたことは、「効率化」と「表現力」への取組み、そしてその重要性でした。

効率化への取組み

印刷業界において効率化を図るとは、たとえばWeb to Printであり、受発注・工程・在庫などの管理システムもそれに当たるといえます。また入稿からデザイン、出力・後加工までを一気通貫で処理するシステム間連携は規模の大小を問わず、作業性を高めるとともにミスの削減にも繋がります。自社の仕組みの中で無駄なロスタイムが発生していないか、部門間で重複した作業を行っているか、など見直す価値は十分にあるように感じます。このような背景もあり、MISに関するセミナーの開催、各メーカによるワークフロー構築の価値提案に加え、Web to Printや自動処理を利用した名刺やDM制作を披露する印刷会社も多く出展していました。

一方で、ポストプレス分野では注目を集めているカッティングマシンを利用したカード系の加工もさることながら、冊子系の製本などの需要も復活してきているとの話も伺いました。このような冊子の出版においても、これからは自動化ワークフローの中に取込まれていくことが予想されます。

表現力の重要性

印刷といえば、デザイン(デザイナー)と強く結びついている業界ではありますが、JP展では印刷だけではなく、以前から「AR」に着目し、さまざまな事例や設備の紹介が行われています。

「表現力」という括りで考えると、デザイン、形態、メディアなどいくつもの要素があります。デザインには、画像とテキストの配置によるレイアウトデザインとともに、フォントによる印象の違いなどを上手に活用することもポイントのひとつです。そして、それは紙の上のみならず、ディスプレイなどに表示する場合も同様で、広がりつつあるデジタルサイネージなどにおいても、表現力のあるデザインがこれからのテーマのひとつになることでしょう。

また、形態としては、各種カード印刷やニス・ラミネート加工、クリアファイルやTシャツプリント、パッケージや軟包装製品など、注目されているホワイト&クリアプリントの活用と相まって付加価値を高める表現力を感じます。そして、展示会ではそれぞれの会社がその個性をアピールする様子が多く見受けられました。

メディアは、デジタル化の進展とともに紙のみならず、動画や音声を含めたディスプレイでの表現力、さらに昨今では3Dプリンタの活用もひとつの要素といえるかもしれません。JP展では、その中でもとくにARについて、今後どのように取り組んでいくべきかを考える上で多くの事例や機能の拡張を見ることができました。変わり種をご紹介しますと、LEDを光源とした明かりやディス

プレイから送信されるID信号を読み取るPanasonicの「LinkRay」も光IDを利用したARのひとつです。

人に伝える情報は、さまざまな形での表現に加え、高い生産性とOne to Oneを実現するためのワークフロー構築が求められています。「表現力」や「効率化」は情報産業に携わる多くのみなさまにとって、ますます期待されることになるでしょう。モリスワは、今回『Design First』と題して表現力を中心とした出展を行いました。今回はさらに一歩進んだ出展ができるよう、みなさまとともに歩んでまいります。





入賞作品が製品化へ タイプデザインコンペティション 2016

— 和文「しまなみ」と欧文「Vonk」が2年後にリリースへ —

昨年、各界を代表する多彩な審査員とともに、新たな表現力とチャレンジ精神に溢れたタイプフェイスデザインの追究を目指し「タイプデザインコンペティション 2016」を開催しました。

2016年5月から7月にかけて作品を受け、世界49の国や地域から、2014年に開催した前回は大幅に上回る739点(和文部門205点、欧文部門534点)の作品が寄せられました。11月に行われた審査会では、和文部門と欧文部門のそれぞれで、独創性や審美性を追究した作品に贈られる「モリサワ賞」、モリサワからの製品化にふさわしい優れた作品に贈られる「明石賞」の入賞作品が選出されました。また、「ファン投票」では、一般の方からのWeb投票で得票1位・2位の作品が決定しました。

ここでは入賞作品の一部をご紹介します。また、次号では2017年5月11日に開催した表彰式の模様をお伝えします。お楽しみに。

◆ファン投票



Unambiguous letterforms

▲Web上での一般投票で入賞作品が決定するファン投票で選ばれた
(上) 得票1位「間取りフォント」作者：竹上紗矢香(日本)
(下) 得票1位「Legilux」作者：アントニア・コーネリオス(ドイツ)

◆モリサワ賞(金賞) ◆明石賞

日本情緒あふれる

あ
永

Arkeologia
gruwelijk & lekker

◀▲モリサワ賞金賞と明石賞のダブル受賞となった
(左)「しまなみ」作者：松村潤子(日本)
(上)「Vonk Regular / Italic」作者：バルト・ヴォレブレヒト(オランダ)

◆モリサワ賞(和文部門)

月夜の晩に

好き好き
格好格好
しとるだけ

▲(左) 銀賞「月映え」作者：小澤直子(日本)
(右) 銅賞「なつめ M/B」作者：豊島 晶(日本)

◆モリサワ賞(欧文部門)

DEMOLIT, WEIRD OWL,

Regarding the liveliness and highest aspirations of particularly formal writings

▲(上) 銀賞「Rododendron」作者：イトカ・ヤネチコヴァ(チェコ)
(下) 銅賞「Abelha」作者：ミシェル・デール、ジュリアン・ブリエ(フランス)



展示会見聞録

教育ITソリューションEXPO(EDIX)

5月17日から19日までの3日間、東京ビッグサイトでは「教育ITソリューションEXPO(EDIX)」が開催されました。3月末に公示された学習指導要領、2020年に向けたデジタル教科書、小学課程で実施されるプログラミング教育や英語授業などへの関心も高く、教材制作を行う出版社や編集者に加え、学校や塾など教育現場の先生方など教育に携わる3万人以上の来場者を迎えて賑やかな展示会となりました。

ここでは、今回のモリサワブースの内容をご紹介します。

まずブース内に設置したミニステージでは、小学校で習う教育漢字に焦点を当て、新しい学習指導要領で追加された文字を紹介する『新学習指導要領で改訂される文字』をはじめ、ICT教育や障害者差別解消の取組みに有効なUD書体の特長を解説する『インクルーシブ教育に最適な教



育現場のためのUD書体』、さらに企画製品として『学校のお知らせを多言語・音声読上げ対応に～MCCatalog+ プライベート版(仮称)』という3つの演目で、文字の重要性について解説を行いました。

一方、展示では昨年リリースしたUDデジタル教科書体を中心にUD書体や学参書体を機器やアプリに組込んだ事例を实物展示するとともに、各地の広報誌や観光ガイドなど多言語対応のコンテンツ配信で多くの実績を持つ「MCCatalog+」を教育現場での保護者へのお知らせなどに活用する新企画『プライベート版(仮称)』、さらに数式や漢文編集など教材制作に評価の高い「MC-Smart

を出品し、小学校から高校・大学に至るまで教育分野に幅広く対応した製品群を体感いただきました。

モリサワは、未来の教育を考えるさまざまな団体に加入し、学習効果の高い教材づくりの実現を支援しています。



今回の世界漫遊記ではタイポグラフィ関連に従事している者なら目的地の一つである世界各国で開催されているタイポグラフィ関連イベントを紹介しします。

Typo Labs 2017

Berlin, Germany 4/6-4/8
www.tygotalks.com/labs/2017

フォント・エンジニア必見のイベントTypo Labs。今年は「タイプ・エンジニアリングに新たな次元」をテーマにエンジニア垂涎のスピーカーたちが3日間みっちりフォントにまつわるバックエンドや最新技術についてのレクチャーで構成されています。機械学習による書体の視覚化、ウェブタイポグラフィにおける絵文字、そしてやはり目玉である次世代のフォント技術Variable Fontについての最新情報を取入れる絶好の機会です。

Typo Labsの講演(過去を含む)内容はWebサイト内のスピーカーのページから閲覧できます。

Typographics 2017

New York, United States 6/12-6/22
2017.typographics.com

今回で3回目を迎えるTypographicsの理念は「タイプを使う者すべての人たちのためのデザインフェスティバル」です。NYCという立地と書体デザインの大学院プログラムType@Cooperを構える

Cooper Union大学との化学反応は、タイポグラフィだけでなく、グラフィックや出版業界をも魅了しており、クリエイティブ・プロフェッショナルのネットワークの場としても輪を広げています。

イベントは、レタリングやプログラミングのワークショップ、NYの30's-50'sのネオンを覗いて回るツアー、ブックフェアなどが並行して行われ、タイポグラフィに関連するクリエイティブスピーカーによるレクチャーがメインのカンファレンスです。

TYPECON 2017

Boston, United States 8/23-8/27
www.typecon.com

TYPECONは、非営利団体Society of Typographic Aficionados (SOTA)によって、1998年より運営され、書体にまつわる広範囲のトピックスをその時代に合わせながら業界を牽引してきた大会です。今回は「Counter!」をスローガンに世界各国からスピーカーが集います。エキシビジョン、ワークショップ、教育からビジネスネットワークまで多岐のイベントが用意されています。

ATypI 2017

Montréal, Canada 9/12-9/16
www.atypi.org/conferences/montreal-2017

ATypIは今年で60周年を迎えます。タイプ業界に携わるすべての人が繋がり、共に活動していくこと

を目的としています。タイポグラフィの文化、伝統や歴史を継承するだけでなく、デジタルフォントの現在地、活版印刷技術や印刷デザインの推奨、書体デザインの権利保護運動を活動の指針としています。世界各国からの代表団で委員会が構成され、その数は40カ国に上ります。世界で最も歴史があり、多様性のある大会といえます。

BITS 2017

Bangkok, Thailand 10/27-10/29
www.facebook.com/bitsmmx

さて、最後にアジアで開催されている大会の紹介です。タイのバンコクで催される「Bangkok International Typographic Symposium (BITS)」。大会としての歴史は浅く、世界中でも利用者数が多くはないタイ語の国で何故国際的な大会が行われるか疑問に思われるかもしれませんが。集結する参加者は国際色豊かで、多言語展開やグローバル展開を視野に集います。タイポグラフィ後進国とも考えられるタイで行われるカンファレンスやワークショップは、国内のグラフィック業界への刺激ともなり、タイポグラフィック・インフラを整えることを見据えて開かれています。

次回、世界漫遊記でいずれかの大会の報告をいたします！

永 フォント あ・ら・か・と

れい 黎 ミン

「フォント あ・ら・か・と」では
毎号、ひとつのモリサワ書体
をご紹介します。

今回は「黎ミン」です。

あらゆる場面で活躍できる明朝体をお探しですか？ シンプルで親しみやすい表情を持つ現代的な明朝体「黎ミン」はいかがでしょう。黎ミンの最大の特徴は、クセのないニュートラルなデザインとともに、34種もの異なるウエイトを持っていることです。黎ミンは従来の明朝体のように、縦画の太さの違いでL~Uまで最大8ウエイトで構成されていますが、加えて横画の太さの違いと

して黎ミン/Y10/Y20/Y30/Y40の5つのファミリーを展開しています。これら縦画・横画の太さの組合せで、合計34種ものバリエーションから書体を選ぶことができます。このように、横画が段階的に太くなっていく5つのファミリーを総称して「グラデーションファミリー」と呼びます。

広めのフトコロを持ち、かなの字幅の差が小さいモダンな設計が、縦組みでも横組みでも同様に美しく見やすい組みを実現し、縦・横画ともに太さが変化しバリエーションを持つことで、ハイコントラストでシャープなイメージからローコントラストで重厚な印象まで、さまざまな場面で活躍します。書籍や雑誌の見出しや本文はもとより、

ビジネス文書から広告まで、あるいは縦組み・横組み、印刷用、画面上の表示などなど、幅広く応用できる高い柔軟性・汎用性を備えた革新的コンセプトの明朝体です。

「黎ミン」は、『MORISAWA PASSPORT』をご契約のお客様はいつでもインストールしてご利用いただけます。『MORISAWA Font SelectPack 1 / 3 / 5』、および Web フォントサービス「TypeSquare」でもご利用いただけます。

●使用例

“Finally we shall place the Sun
himself at the center of the Universe.”

黎ミン H

宇宙の始まりを、

黎ミンY40 EH

地動説とは、宇宙の中心は地球であるとする天動説(地球中心説)に対義する学説であり、ニコラウス・コペルニクスが唱えた。

黎ミンY20 M

視る。

永	あ	永	あ	永	あ	永	あ	永	あ
鱗	ア	鱗	ア	鱗	ア	鱗	ア	鱗	ア
黎ミン B		黎ミンY10 B		黎ミンY20 B		黎ミンY30 B		黎ミンY40 B	

イケテル&ルーキーの メンズDTP!!

イケメンの「イケテル先輩」と
勘違い系新人「ルーキー君」のドタバタ制作室

今回のテーマは — Adobe Stockの活用による
作業効率化について

ルーキー：ああー！また素材探しなあ…。

イケテル：ん？その画像、クライアントからNGだったのか？

ルーキー：そうなんすよ。Adobe Stockで見つけたこの写真、NGでした。
ああー、今のプランだと月に10点までしかダウンロードできないのに…。
また似たようなの探さないと。

イケテル：おいおい、また一から探す気か？しかも、クライアントに確認する前に購入しちゃったのか？

ルーキー：えっ？一から探すしかなくないっすか？あと、購入したらまずかったっすか…？

イケテル：お前なあ…。Adobe Stockの機能、おさらいだ。

■ Adobe Stockについて

イケテル：Adobe Stockは高品質なロイヤリティフリーの素材を購入できるサービスだ。アプリケーションのライブラリパネルからキーワードで検索して、気に入った素材があればドラッグ&ドロップでドキュメントに配置することができる。この段階ではまだ購入していないから、透かしのAdobe Stockマークが入るんだ(図①参照)。ここまではOKだな？

ルーキー：もちろんっす！

イケテル：このままの状態でも印刷・PDF書き出しできるから、クライアントのOKが出れば購入すればいい。ちなみに、仮置き状態でもPhotoshopから色調補正やフィルターといった画像加工が可能だぞ。

ルーキー：な、な、なんだってー！知らなかったっす！

■ 「類似を検索」機能について

イケテル：あと、Adobe Stockには「類似を検索」という機能が付いているんだ。この機能を使うと、キーワードで検索しなくても、素材のテーマ、構図、雰囲気やコンセプトを判断して、6000万円以上の画像の中から別の候補画像を自動で検索してくれるぞ。アプリケーションのライブラリパネル上で素材を選択して、右クリックで「類似を検索」を押してみる(図②参照)。

ルーキー：うおー！いっぱい似たようなの出てきた！あ、でもAdobe Stock以外の素材を使っていることも多いんすよね。それも検索できないっすか？

イケテル：Adobe Stockで購入したものでなくても、ライブラリに登録した画像であれば検索できるぞ。

ルーキー：なるほどー！便利っすね！

イケテル：ちなみにAdobe StockのWebサイトからも類似の画像を検索できる。探したいイメージの画像をドラッグ&ドロップすることで類似の画像を検索してくれるんだ(図③参照)。

ルーキー：これ、Googleの画像検索みたいっすね！

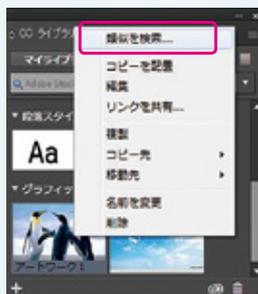
イケテル：そうなんだ。Adobe Stockには作業効率をアップする機能がたくさんあるから、お前もちゃんと活用してくれよ。

ルーキー：はいっす！頑張るっす！

イケテル：お前はいつも返事だけはいいいんだよなあ。



① ライブラリパネルからのAdobe Stock素材の検索・配置



② 類似を検索



③ Adobe Stock Webサイト (https://stock.adobe.com/jp)

イベント情報

New Education Expo 2017

《東京開催》 会期：6月1日(木)～3日(土) 会場：東京ファッションタウンビル(TFT)

《大阪開催》 会期：6月16日(金)～6月17日(土) 会場：大阪マーチャンダイズ・マート

APPS JAPAN(アプリジャパン)2017

会期：6月7日(水)～9日(金) 会場：幕張メッセ(国際展示場/国際会議場)

編集後記

5月後半には各地で日中の気温が30度以上の真夏日となる暑さが早々とやって来た2017年、先日の教育ITソリューションEXPOも新しい学習指導要領への関心とともに熱い展示会でした。今回の改訂で教育漢字が20文字増え、小学4年で都道府県名のすべてを漢字で書けるようになるそうです。小学3年生からの英語教育と合わせ、国際人としての育成は日本語をより深く学ぶことも重要と言えるかもしれません。

✉ E-Mail: m-news@morisawa.co.jp

発行:株式会社モリサワ 企画・編集:プリンティング事業部 営業企画部
※記載されている会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

モリサワ www.morisawa.co.jp
株式会社モリサワ

本社 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel.06-6649-2151
東京本社 〒162-0822 東京都新宿区下高井町2-27 Tel.03-3267-1231
仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺1-3-8 Tel.022-296-0421
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-5-10 Tel.052-201-2341
札幌営業所 〒001-0010 札幌市北区北十条西2-6サウスシティ2F Tel.011-700-0112
広島営業所 〒730-0805 広島市中区十日市町1-6-27広島印刷会館1F Tel.082-296-1114
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-3-25 Tel.092-411-5875
鹿児島営業所 〒890-0051 鹿児島市高麗町11-3 下田平ビル2F Tel.099-252-2255